

令和3年度健康長寿社会づくり推進会議 <意見一覧>

該当資料	団体名	構成団体からの意見	事務局からの意見
資料2	宮崎県社会福祉協議会	<p>「国民生活基礎調査」の結果、健康長寿の順位が大きく上昇し、平均寿命との差も縮まるなど、県民・関係者の意識向上、取組みによる大きな成果となりました。</p> <p>最終目標である「健康寿命 男女とも日本一」も現実味を帯びてきましたが、例えば、アウトカム評価にある「1日当たりの食塩の平均摂取量」や「1日当たりの平均歩数」など、全国1位の都道府県との差を示し、さらなる県民・関係者の意識向上を図ってはいかがでしょうか。</p>	<p>県では「健康寿命 男女とも日本一」を目指して、資料2のアウトカム指標を用いています。「1日当たりの野菜の平均摂取量」を例に挙げると、目標の350gに対しておよそ100g不足しているため、「野菜を1日プラス100g食べよう」と呼びかけています。今後も、県民の意識向上につながるよう、具体的な取組を示していきたいと考えます。</p>
	宮崎日日新聞社	<p>糖尿病の受療率と要介護認定率、1日当たりの平均歩数、特定健康診査の受診率が全国で低いようなので、改善させるよう工夫が必要。また、成人の喫煙率は順位が低い方がいいのか分かりにくかった。</p>	<p>要介護(要支援)認定率について、本県は全国平均よりも低い水準であり、介護を必要とする人の割合が低くなっています。</p> <p>成人の喫煙率については、数値が低いほど全国順位が下位となります。</p> <p>県の課題点について、効果的な取組ができるよう、関係機関と協議しながら進めていきます。</p>
資料2,5	日本健康運動指導士会宮崎県支部	<p>健康経営への取組は企業毎ではなく、横つながりのある取引業者を含めるなど業態(業界)単位とすることで、加速度的な推進を企図してはどうか。そこに存在するであろう各協会も巻き込んで。</p>	<p>健康経営の取組は、企業や事業所が互いに切磋琢磨し、好事例を波及させることでより広がっていくと考えます。企業や事業所が横のつながりを持ち、互いに高め合うことができるよう、関係団体との連携を深めていきたいと考えます。</p>
資料3	国立大学法人宮崎大学(医学部)	<p>ポプレーションアプローチが重要であることから、就学期までの働きかけに、偏食、減塩および禁煙についての教育を含める必要があると思います。初期の教育は非常に重要です。積極的に取り組みたいところです。</p>	<p>御意見を参考に、就学期までの働きかけについて、さらなる取組を検討していきます。</p>
		<p>禁煙支援、節酒支援を働く世代、高齢者にも行う必要があると思います。特に宮崎県では飲酒による健康障害リスクが高いと考えます。県としてこのような活動をすでにしているのではないのでしょうか。</p>	<p>県では、健康みやざき行動計画21(第2次)及び宮崎県アルコール健康障がい対策推進計画の中で、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らすため、特定健康診査等の場を利用した個別支援の実施等を推進しています。禁煙についても、喫煙率を減らす取り組みを進めているところです。今後も、働く世代以降への取組について、さらに進めていきます。</p>
	<p>健康寿命にはコミュニティーを構築し、横のつながりを強くすることが、災害にも強い町づくりのためにも、欠かせません。そのような活動は県として行なっていると思いますので、県の主な取り組みとして含めてはどうか</p>	<p>資料3の「県の主な取組」については、ライフステージに応じた働きかけに係る取組を抜粋して記載したところです。</p> <p>御意見のとおり、健康寿命の延伸には社会参加やコミュニティーの強化も重要であると考えますので、それらの視点を加えて取組を進めていきます。</p>	

該当資料	団体名	構成団体からの意見	事務局からの意見
資料3	国立大学 法人宮崎 大学(医 学部)	宮崎県の健康寿命の推移について、平成22年の平均寿命との比較、H28年とR1年の順位の比較がありますが、できれば年度は統一した方が、根拠と結果が一致するのでわかりやすいと思います。	「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」につきましては、健康日本21(第2次)における健康寿命の延伸に関する目標になっており、本県の健康みやざき行動計画21(第2次)も同様に評価指標としております。この計画では平成22年の数値と比較することになるため、こちらの指標につきましては平成22年との比較をしております。
資料4	日本健康 運動指導 士会宮崎 県支部	推進団体単独でなく、横つながりで複数団体が協力しバランスの良い取組を同時提案していきたい。加えて、日常生活において手軽に無理なく取り組める内容を提案。今一番のターゲットは子育て世代の女性であろう。	健康長寿社会づくりをさらに推進するため、県、構成団体、賛同団体がより連携できる体制づくりを進めていきます。
	国立大学 法人宮崎 大学(医 学部)	県下の自治体と協力して、特定健診結果の解析を行い、健診の効果について評価しています。	-
資料6	全国健康 保険協会 宮崎支部	「健康長寿への取組み」の中で、当協会のサポート事業を活用いただき、一定の行動変容に繋がったということが分かり、非常にうれしく思いました。今後も加入者の皆さまの健康づくりのサポートに力を入れ、少しでもお役に立てるよう努力いたします。	-